

市長の オフサイト訪問

VOL.27

コーラスグループ「フラウエンコールふきあげ」



その美しい調べはどこか懐かしく、郷愁が胸を打つコーラスの歌声。メンバーが心を合わせ、妙なるメロディを紡ぎ出す「フラウエンコールふきあげ」の皆さんを吹上公民館に訪ねました。

代表 私たちはママさんコーラスとして、22年間活動しています。フラウエンコールとは、ドイツ語で女性コーラスグループという意味です。公民館の音楽祭をはじめ、県の合唱祭等数多くのイベントに参加させていただいており、鴻巣市の合併時のイベントにも出演させていただきました。最近では、ボランテア活動として老人ホームを訪問しています。これからは、「楽しく歌うこと」をモットーに活動していきたいと思っています。

市長 先ほど、皆さんのすばらしいコーラスを聴かせていただき、心が癒される思いでした。皆さんの貴重な練習の最中に、このような時間を作っていただき、ありがとうございます。さて、現在の市の状況ですが、3つの駅の駅前整備を積極的に進めています。吹上駅の北口も10月中旬から工事に入っており、20年度末には4,260㎡のすばらしい駅前広場が出来上がる予定です。また、合併時から要望の大変多いコミュニティバスは、鴻巣地域の高崎線西側地区と吹上地域でも来年1月から運行を開始します。皆さんの足の確保に役立つのではないかと思います。

会員 下忍小の体育館ですが、今年度、屋根を塗り替える予算がついたと聞きました。市長 塗装工事を予定しています。夏の暑い時期より、秋から冬にかけて行った方が良さそうですね。現在、準備を進めているところです。

会員 コミュニティバスに期待しています。これから高齢者が増えますし、個人が車を運転するより環境にもやさしいで

すから、使いやすい路線を考えていただきたいと思っています。

市長 来年1月から1年3か月間の実証運行期間中に、予定されている路線や300m間隔のバス停の配置が本当にこれで良いのか検討して、皆さんが利用しやすい路線をつくっていきたくと思っています。

会員 吹上中学校はプレハブ校舎で5年間過ぎることになり、そこから卒業する生徒たちが出てしまうということで悲しんでいる人がいます。また、体育館も耐震強度が心配です。災害時の避難場所でもあるので、できるだけ早く整備していただきたいと思っています。

市長 小谷小学校の体育館は創立100周年に間に合うように努力した結果、本年3月に完成しましたが、これはまさに合併効果であると考えています。合併後、教育施設はできるだけ良い形になるよう進めています。吹上中学校の場合は段階的な投資を考えていかなくてはなりません。体育館は、耐震診断の結果、補強させていただいたところですが、最近のプレハブ校舎は冷暖房完備で、昔のイメージとはだいぶ違います。生徒の皆さんには申し訳ないのですが、財政計画もありますのでもう少ししばらく待っていただきたいと思います。

会員 都会にはなくて鴻巣にある価値として水と緑に代表される豊かな自然環境があります。それを大切に考える方を広めてほしいと思います。

市長 たとえば田んぼは災害時の貯水機能を持っていますし、緑の面でも重要です。現在、後継者の問題についても取り組みながら、田畑を残していきたいと考えています。水については、元荒川を清流にする取り組みを進めています。元荒川に流入する川をきれいにするため、積極的に県と連携をはかっているところで

会員 農村地帯に街灯を設置すると、米の生育に障害があると聞いていましたが、影響を与えない街灯ができたような話を聞きました。もしそうであれば、通学路に街灯を整備していただきたいと思います。

市長 通学路の街灯については、できるだけ整備を進めるように考えています。会員 吹上の音楽祭と交響楽の日程が重なっていますが、うまく調整できないでしょうか。

市長 担当に伝えておきます。ただ、イベントが多くなる時期は、日程調整が難しいようです。

指導者 吹上地域にはピアノがある施設が少ないです。音楽活動のできる施設をもう一箇所くらいつくっていただきたいと思っています。また、サークルが増えたこともあり、大芦小の空き教室の利用も考えたのですが、実現できませんでした。市長 大芦小には空き教室がありますが、校舎の構造や一般の人の出入りの問題等で対応が難しい部分があります。学校の危険防止の観点から見ると、やむを得ないところです。

